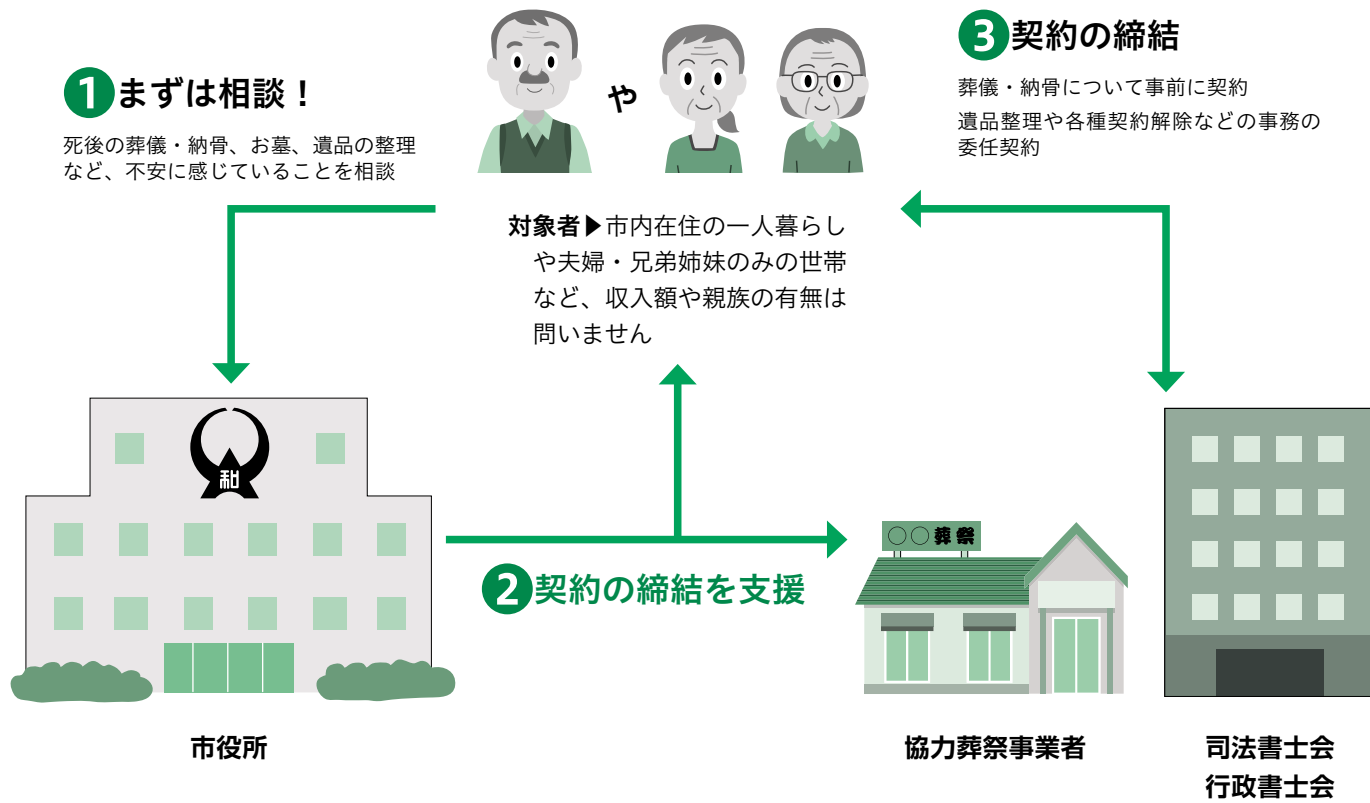


## 終活支援「葬儀生前契約」の流れ



## 市の終活支援事業に登録した人にはさらに支援が

- 支援1** 登録カードを発行。常時携帯しておくことで、急病や事故などの緊急時に市や葬祭事業者につながります。
- 支援2** 希望に応じて市が定期的に安否確認。緊急時に親族や知人に連絡します。
- 支援3** 死亡時は、市が登録者の親族や知人に亡くなった事実やお墓の場所などを連絡します。

終活支援講演会を開催します。詳しくは次のページをごらんください。

**60歳代の一人暮らしの女性**  
「葬儀や納骨のことは自分には先のことだけど、一人暮らしだし、いざというときののために事前に備えておきたいです」と市に相談がありました。終活コンシェルジュに悩みや不安に思うことを相談し、葬儀生前契約を結ぶこととなりました。「まだまだ先のことだけど、いざというときのことが決められて安心しました。他市の友人には身近な自治体で相談に乗ってもらえることをうらやましがられました」と笑顔で話していました。



レポート  
わたしの終活体験

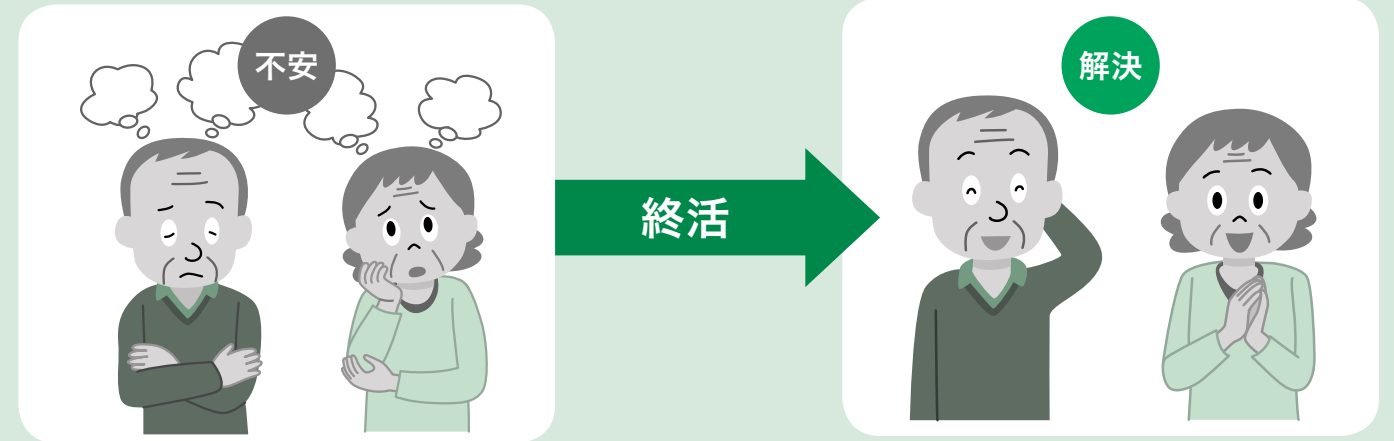
問保健福祉センター健康福祉総務課おひとりさま支援係 ☎(260)5622 FAX(262)0999

## おひとり様などの終活支援

特集

# スタート 終活

～大和市が応援します



### 「終活」ってどんなこと

終活で考えることは、自分が亡くなるまでのことと、亡くなった後のことがあります。亡くなるまでのこととしては、エンディングノートを作ることがあります。これからの人生を振り返り、自分自身のこれからの生き方を考えることにより、より充実した人生を送るきっかけになります。亡くなった後のこととしては、身の回りの物の整理や遺言書の作成、葬儀や納骨などについて決めておくことがあります。自身に万一のことがあっても、これらのことをあらかじめ決めておくことでトラブルを防ぎ、残された家族の負担を軽くすることができます。



### 一人暮らしの人と終活

一人暮らしの年配の人からは、自身のエンディングに向けたさまざまな不安や悩みの声が聞かれます。

- ・遺品整理
- ・葬儀・納骨
- ・亡くなった事実の親族・知人への連絡
- ・お墓の場所の伝達

終活は、こうした将来の不安を軽減するためのきっかけになります。しかし、亡くなった後の手続きは多岐にわたるうえに専門的な内容も少なくないため、終活に関心があっても何かから手をつけていいか分からないという声が多く聞かれます。



### おひとり様などの終活をサポート

そこで市は、さまざまな不安や悩みなどの相談に対応する、おひとり様などの終活支援事業を実施しています。この事業では、葬儀・納骨、お墓、遺品の整理など、自分が亡くなった後のことで不安に感じていることなどを、市の「わたしの終活コンシェルジュ」に相談できます。